

道路建設産業労働組合協議会

〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (NIPPO 労働組合内)

電話03 (3563) 6744

URL: <http://www.doukenroukyou.com>

＜第27回定期大会報告＞

2012年7月17日(火)に日暮里のホテルラングウッドにて第27回定期大会が開催されました。今大会での代議員の人数は、加入組合毎の規程人数と地方協議会議長の4名を合計した総数33名であり、本大会代議員33名全員の出席により大会の成立が確認されました。

冒頭、山下議長は『東日本大震災の被災地域では各社増員して復旧、復興工事に対応しているものの大変忙しい状態が続いている。一方、被災地以外の地域では工事量は依然として少なく、多くの組合員が被災地域に出援し、非常に厳しい環境の中、少人数での業務を強いられている。仕事量の地域格差が広がり、組合員一人ひとりの業務量が増加していると強く感じる。また、この震災を期に、「道路」の重要性が再認識された。私達は道路建設産業の社会的使命を再認識するとともに、道路建設を通じて社会に貢献することを確認し、魅力ある建設産業を目指すことが重要である』と挨拶しました。

来賓は、日建協(山田栄治議長)・建設連合(吉田一道副中央執行委員長)・長谷工グループ労働組合(梅田泰三中央執行委員長)・全電工労連(川村秀樹事務局長)・通建連合(藤井淳議長)が出席され、日建協の山田栄治議長より祝辞を頂きました。

その後、議事に従い2011年度経過報告・2012年度運動方針(案)・2012年度予算(案)が各担当役員より説明があり、全ての議事が満場一致で承認されました。

役員選挙では、中央執行委員の野口光博氏(東京舗装工業社組)・日暮猛氏(フジタ道路職組)・会計監事の河合努氏(大林道路職組)が退任し、新中央執行委員には杉原慶太氏(東京舗装工業社組)・神田知典氏(フジタ道路職組)・新会計監事には奥野尚平氏(大林道路職組)が就任しました。また、新副議長には会計監事の矢嶋宇之氏(大成ロテック社組)・新会計幹事には副議長の和久康郎氏(大成ロテック社組)が就任しました。

退任された中央執行委員並びに会計監事の皆様、大変お疲れ様でした。



2012年度の取り組み

2012年度の始まりに当たり一言ご挨拶申し上げます。

昨年度を振り返ってみますと、日本経済は「依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として緩やかに回復しつつある」との見方が示されています。一方で、欧州における債務危機に伴う円高や、電気機械を中心とした海外需要の低迷等により、先行き不透明感が一層強まっております。また、東日本大震災からの復興に向けては2月の「復興庁」発足以降、具体的な取り組みが始まりつつありますが、本格復興には長い時間を要することが想定されます。そうした中で、社会インフラ構築の一端を担う者として、引き続き復興に向けた取り組みについては手を携えながら進めていくことが必要であると考えます。

このような社会情勢の中、私たち道建労協は組合員の代表組織として「働きがいのある職場の環境づくりと豊かな生活の実現」を目指して、今年度も引き続き労働問題の改善に取り組んでいきます。しかし被災地域の厳しい労働環境や東日本へ人員がシフトしていることから西日本における労働環境が厳しさを増している状況により「一人あたりの業務量の多さ」等の問題が拡大し、組合員の時短や休日取得は思うように進まず、我々が提唱する「ワーク・ライフ・バランス」は順調には浸透していない状況です。私たち道建労協はこの問題に警鐘を鳴らし、道路建設産業の魅力化に向けた労働環境の改善への取り組みを提案し、各単組の労使間でも個々に解決の糸口を見つけるよう活動をしていきます。更に一方で組合員の心の中にある時短や休日勤務に対する「慣れ」や「諦め」に対しても様々な「場」を通じて訴えていき、少しずつでも克服していかなければならないと考えています。

2012年度の主な活動方針は 1.「組織活動」2.「産業政策活動」3.「教宣活動」の3項目とし、1つ目の「組織活動」では、賃金及び労働条件の改善など、各単組の内情を検証し、引上げを目指す活動を行います。更にセミナー開催や地方活動にも注力していきます。2つ目の産業政策活動では、関係団体との交流や友好組織との連携に取り組むとともに、「土曜閉所推進運動」を実施し、11月、6月を強調月間として今年度も引き続きねばり強く展開していきます。3つ目の「教宣活動」ではリニューアルしたホームページの更なる充実を目指し、組合員の「ワーク・ライフ・バランス」に対して背中を押す情報を発信していきたいと考えております。また、土曜閉所強調月間等の時期に併せてフォトコンテストを開催し、加盟単組組合員のみなさんが気軽に参加できる企画となるよう取り組みます。以上が今年度の主な活動方針です。

現在、私達が抱えている問題は、労働時間、休日取得を始めとして数多くありますが、各単組間の情報交換を積極的に行い、道建労協を各単組と組合員の皆さんにとってより価値のある組織にしていきたいと考えておりますので、皆様方の一層のご理解とご協力のほどをよろしくお願い致します。

(議長 山下 剛)

「モサエビ」

現在、私が赴任しています鳥取

県の特産物と言えば、日本海で獲

れる松葉ガニや白イカ、ノドグロ

が有名です。しかし私が薦めし

たいのは「モサエビ」と言う甘エ

ビのお父さんのようなエビです。

モサエビは正式名を「クロザコエ

ビ」と言い、体長は10センチ程度、

日本海で多く獲れ、2月～5月位

に最盛期を向かえます。鮮度が落

ちるのが早いので、あまり遠くま

で出荷されないようですが、地元

では居酒屋だけでなく、スーパー

などで購入することが出来ます。

名前だけ聞きますとあまりバツと

せず、泥臭そうな感じがしますが、

味は甘エビよりも濃厚で身はプリ

プリとしており、刺身やフライ、

焼き物にして食べます。私のお薦

めは半生で食べる塩焼です。ビー

ルのお供に最高で、すっかり病み

付きになってしまいました。

最近知りましたが、ご当地バー

ガーで「モサエビバーガー」なる

ものもあるらしく、一度食べてみ

たいと思っています。もし鳥取県

に来られることがありましたら、

メジャーなカニだけでなく是非

非、モサエビも食べてみてください

大成ロテック社員組合

辰 直樹

第27回労使セミナー

平成24年1月19日、ホテルラングウッドにおいて第27回労使セミナーが開催されました。当日は道建協加盟単組や建設産労懇の役員の皆様、道建協総務委員会を中心とした各企業の総務・人事部門の皆様をお招きし、講師に人材戦略アドバイザーの蛭田敬子先生をお迎えして「＝組織のリーダーは愛情あふれる教育者であれ＝ ◆できる社員・従業員に育てあげる秘法」と題し、上司のどのような指導が、働く者をその職場や企業で働きたいと感じさせるのか、という視点で講演していただきました。

講演のポイントは「リーダーは覚悟をもつこと」「自ら考え働く部下に育てるためには自分のことを、大切に思っていて言ってくれていると感じさせること」「伝え方を間違えると伝わらない」という3点でありました。日本の大企業が日本国内で日本人ではなく外国人を採用する傾向にあり、一方、中国や韓国といった国から日本の技術者に求人が殺到している状況である。また、日本人の会社への帰属意識や仕事への熱意は世界で最低ランクであることなどの実態を交え、この一因が上司の部下に対する指導にあるということから、上記ポイント3点についての説明がなされました。

・上司が伝えるべきことは、働く喜び・生き方である。働かすのではなく働きたいと思わせることが重要。優秀なリーダーは迷わせない。上司が迷うと部下も迷う。

・感情を意識しない話は忘れられる。忘れられて困ることは、相手の感情に訴えかけることが重要。○○だから、△△です。と伝える方法が有効。

講演の最後に、まとめとして3項目があげられました。

1. リーダーは自身の意識を変える。お金より大切な物、知識や物の考え方などを伝え与えることが、愛情表現になる。
2. これからの厳しい時代を生き抜くには、リーダーが覚悟して迷ってはいけない。
3. 伝え方を間違えると、相手のことを思っていないと伝わらない。
相手の感情を動かすことで「働かされている」から「働きたい」と思うようになっていく、これが秘法だということでした。
※職場でのコミュニケーションや仕事での接客で、○○だから△△ですを実践してみましょう！



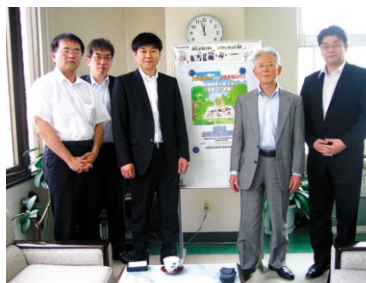
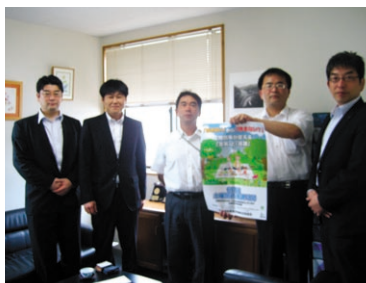
北陸地区関係団体・加盟単組企業訪問、東北地区関係団体訪問

平成24年6月21日・22日に北陸と東北の意見交換会と併せて、北陸地区においては道建協北陸支部及び北陸地区アスファルト台材協会連絡協議会と大林道路(株)北信越支店、大成ロテック(株)北陸支社、(株)NIPPO北信越支店、前田道路(株)北陸支店を、東北地区においては道建協東北支部及び日合協東北連合会を訪問し、6月の土曜閉所強調月間についての協力要請等を行ってきました。

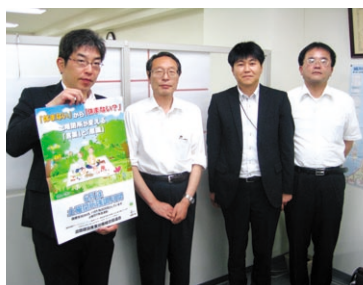
それぞれの訪問先において、土曜閉所に対する道建協の取り組みや活動の狙い、他地域の状況などの話をさせていただきました。各訪問先では主旨をご理解いただきご賛同いただきましたが、日合協東北連合会加藤常務理事からは、やはり東北地区において復旧・復興をまず進めなければいけないため、土曜日や日曜日の休みなどと言っておれない状況だということ、また道建協や日合協ということではなく、発注者やそれぞれの企業に対して要請していくべきではないか、というご意見も頂戴しました。各社が人員を被災地へ投入し体制を整えつつある中で、東北地区においては今だからこそ安全衛生の面からも休みを取れるように協力をお願いするとともに、業界全体としてもこの運動を推進してもらえるように取り組んでいかなければ、という課題を道建協としても改めて認識しました。

この場をお借りして、お忙しい中ご対応下さいました皆様に改めて御礼を申し上げます。

(北陸地区)



(東北地区)



スケジュール

第27回定期大会にて承認されました年間スケジュールを紹介いたします。内容については前年とほぼ同じであります。活動の経緯、報告については随時ホームページや機関紙などで紹介致します。

2012年度道建労協年間スケジュール

	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
各 種 会 議	三役会	中 執	単組代表者	三役会	中 執	三役会	中 執		三役会	中執会		三役会
大会・企業訪問	単組大会	単組大会	単組大会 企業訪問	単組大会						企業訪問		定期大会 単組大会
研修会・セミナー						労使 セミナー						単組支援 セミナー
地 協 活 動		(定期総会)	(定期総会) 地域交流会	(定期総会)		地協訪問			地協訪問		地域交流会	地 協 代表者
春闘への取組			年齢構成 調査	調査時報			基本方針	情報交換	情報交換	情報交換		
産 労 懇		運営委員会	総会/セミナー 土開共同プレス				運営委員会			運営委員会 土開共同プレス		運営委員会
機 関 紙		84号					85号					
ポ ス タ ー				土曜閉所							土曜閉所	
ア ン ケ ー ト					土曜閉所							土曜閉所
そ の 他	道建協 日合協		道建協 日合協 地方関係団体			道建協 日合協				道建協 日合協	地方関係団体	

単組支援セミナー

第27回定期大会の後に、単組支援セミナーを開催いたしました。今回は「あこがれの労働三法」と題しまして、講師には平成23年のR-1グランプリで決勝戦に勝ち残ったという本格的実力派漫談家のナオユキ氏を迎え、楽しくお話いただきました。

最初はボヤキネタの連発でこちら側もリラックスでき、本題に入っても柔らかい口調で憲法の説明に鋭いボケと突っ込み。ナオユキ氏が淀み無く憲法の条文を唱える姿に参加者の拍手、それに対してナオユキ氏は「なぜこんなにスラスラ言えるかと言いますと、私は目を閉じて言いましたが、実は瞼の裏に書いてあるからです」というオチ。このような感じで労働三法についてという堅い話を漫談スタイルで聴くとはなかなか斬新でしたが、法律で守られている労働者の権利のイロハについて、大変楽しく触れることができました。

参加して下さった皆さんも楽しんでいただけたと思います。



地協のない地域の交流会



北陸地区

2012年6月21日（木）新潟駅前のカルチャーセンターにおいて、『北陸地区交流会』が開催されました。昨年度は、東日本大震災の影響で開催を見送り、2年ぶりに再開となりました。

交流会ではワークライフバランスの実現に向け、各単組の抱える問題点や、改善に向けた活動について意見交換を行いました。

その中でも、総労働時間の短縮と休日取得率については、各単組の現状や取得率アップについての取り組みを聞くことができ、具体的な問題解決に繋がるような貴重な意見もあったように思います。

また、毎回話題に出る若手社員の配置については相変わらず少なく、離職率も増加傾向にあるとのこと。

今後、ますます道路業界を取巻く環境は厳しくなる一方ですが、業界の活性化に向けた更なる活動が必要であると感じました。

会議終了後の懇親会では、各単組の方々と交流を深めることができ、全体を通して有意義な交流会となりました。

NIPPO労働組合 吉田 満



東北地区



平成24年6月22日（金）仙台ガーデンパレスにて東北地区の地域交流会が開催されました。

はじめに、道建労協本部の方より道建労協の活動内容や取組について説明があり、産業の魅力化に向けて活動していることがよく分かりました。各単組より、時短や休日取得に対する取り組みや、震災後の繁忙状態に至っている状況でどのような問題があるか等意見交換を行いました。



東北地区については、震災後、忙しい状態が続いています。その中でいかに時短等の問題に対応しているのか私自身非常に興味がありました。各単組ででてくる問題が同様のものであったり、独自の課題を抱えていること等、すべてを解決している単組はないにしろ、各単組の工夫や改善策を知ることができ非常に勉強になりました。

会議終了後の懇親会では、普段は同業他社という競争相手であり、話す機会はあまりありませんが、和やかな雰囲気のもと日頃聞いてみたい質問など、さつくばらんに話すことができ楽しい会になりました。

大成ロテック社員組合 東北支部 大澤 哲夫

ホームページのご紹介

道建労協では、加盟単組組合員への更なる情報発信ツールとして、ホームページを開設しております。本部や地協の活動状況の報告に加えて、旬な話題・旬な情報を随時発信しています！皆さん、奮ってアクセスして下さい！

<http://www.doukenroukyou.com>

検索





新年度 役員紹介

平成24年7月17日開催の第27回
定期大会で下記の方々が新役員とな
りました。



山下 剛
議長
(NIPPO労働組合)



高島 力
副議長
(大林道路職員組合)



矢嶋 宇之
副議長
(大成ロテック社員組合)



服部 栄三
事務局長
(前田道路労働組合)



杉原 慶太
中央執行委員
(東京舗装工業社員労働組合)



有木 秀龍
中央執行委員
(NIPPO労働組合)



神田 知典
中央執行委員
(フジタ道路職員組合)



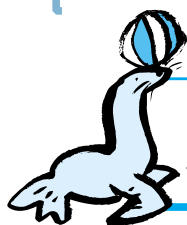
静 正人
中央執行委員
(三井住建道路労働組合)



奥野 尚平
会計監事
(大林道路職員組合)



和久 康郎
会計監事
(大成ロテック社員組合)



退任役員紹介

第27回定期大会をもちまして、下記の方々が退任されまし
た。

今後の各氏のご活躍を祈念するとともに、当協議会における
重責を全うされたことに感謝の意を申し上げます。



野口 光博
(東京舗装工業社員労働組合)
任期：平成15年度～平成23年度
役職：中央執行委員



日暮 猛
(フジタ道路職員組合)
任期：平成16年度～平成23年度
役職：中央執行委員



河合 努
(大林道路職員組合)
任期：平成22年度～平成23年度
役職：会計監事

物知りクイズ

8月に消費税増税を柱とする「社会保障・税一体改革関連法」が成立しました。現行5%の消費税率は平成26年4月に8%、27年10月に10%へ2段階で引き上げられます。

この増税により大きな影響を受けると言われているのが「住宅市場」です。

というわけで、今回のテーマは「古今東西の住宅」についてです。

Q1 日本の住宅様式には色々なものがあります。小学校の社会科で習った「いい国つくろう鎌倉幕府」。この鎌倉時代に成立した住宅様式の名称は何でしょうか。

- ① 合掌造 ② 寝殿造 ③ 数寄屋造り ④ 書院造

Q2 江戸時代にタイムスリップ！基本的に江戸時代の住宅はほとんどが賃貸でした。家賃を支払うことによって町内会の祭りへの参加や政治的なものに参加する権利を有していました。そんな江戸時代（文化文政の頃）の長屋の家賃は現代の価格にすると、いくら位だったでしょう。ちなみにこの時代の一般職人の平均収入は月10万円程度でした。

- ① 7,500円 ② 15,000円 ③ 22,500円 ④ 30,000円

Q3 江戸時代から歴史は流れ現代の住宅事情は大きく変化し、持ち家住宅率が約6割となっております。それでは問題です。‘憧れのマイホーム’を所有している率（持ち家住宅率）が一番高い都道府県はどこでしょう。

- ① 秋田県 ② 山形県 ③ 富山県 ④ 福井県

Q4 住宅を構造別にみますと、「木造」は住宅全体の約6割を占めていますが、「鉄筋・鉄骨コンクリート造」や「鉄骨造」などの「非木造」住宅の割合が一番高い都道府県はどこでしょう。

- ① 北海道 ② 東京都 ③ 大阪府 ④ 沖縄県

物知りクイズ当選者

・回答者はそれなりにいましたが、一部労組（NIPPO労働組合）に偏っていたため当選者は絞り込んでみました。＜回答数19名 正解者17名＞

当 選 者

竹内 弘生さん	大林道路職員組合	松島 良和さん	大林道路職員組合
岡崎 清彦さん	大成ロテック社員組合	秋山 真一さん	NIPPO労働組合
西舘 愛さん	NIPPO労働組合	千田 昇さん	NIPPO労働組合
高橋 志緒さん	前田道路労働組合		

組合員からのご意見（一部）

- ・中部地協の活動報告が寄せられていないのは、少し問題有ですね。報告の督促はされているのだと思いますが、報告がないと組合員にとっては地協活動がなされていても、いなくてもわかりません。本部の中部地協に対するコメントが1行でもあれば良かったと思います。東北は組合活動どころではないかもしれませんが、本部の助けを借りて、地域交流会が開催されることを願っています。（大林道路職員組合の方より）
- ・土曜閉所アンケート結果において、合材部門で地域別事業所閉所率が低いのにに対して組合員平均休日取得率が50%を越えているのには驚きました。合材部門は適正な人員配置に近付けている結果の表れなのでしょう。それとも、工事との業務の違いからくる結果なのでしょう。アンケート回収率88.5%はすごいと思う。寄せられた意見を少しでも生かせるようになればいいと思う。（NIPPO労働組合の方より）
- ・アンケートへの回収率が良いということはそれだけ皆さんの関心が高いのでしょうか。でもまだまだ休日取得率は低いなど課題も抱えていますね。これは建設業界に限らず、他の業種でも同じなのでしょう。か？（NIPPO労働組合の方より）
- ・休日取得・時短の取り組みの活動を産業挙げて頑張ってください。（NIPPO労働組合の方より）

編 集 後 記

〈応募方法〉下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

- 解答 ●住所（会社宛の場合は会社名もご記入ください）
- 氏名 ●所属単組名
- 今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。
- 締め切り 10/31（水）
- 宛先 〒141-8665
東京都品川区大崎1-11-3 前田道路労働組合内
道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛
FAX 03-5487-0051
E-mail:kumiai@maedaroad.co.jp

※次号は1月発行の予定です。

私事ではありますが、7月の定期大会より中央執行委員を務めることとなり、初めてのことに不安と、現在のところ後任者となる者（若手）が会社に居ないということへの不安も正直なところあります。前任者については9年間も在任していたこともあり、在任期間の記録更新も考えられる状況でもあります。

建設業界に当てはまる言葉で、昔から言われている「3K」という言葉がありますが、現在も未だにそのイメージは払拭されていないようにも思えます。それは、入職を希望する人の減少および若い社員の離職率の高さが物語っているのではないかと思います。

また、それに合わせて業界全体の高齢化による技術の継承も出来なくなり、こういう状況であれば、私の後継者の話もそうですが、若手不足により、この業界が衰退してしまう状況にもなりかねません。

私も道建労協のメンバーの一員ですので、この問題を解消するため、活発な意見交換をしながら、魅力ある業界へ変えて行ければと思います。

とにかく、皆さんも知恵を出し合いながら、この業界を明るい方向に持って行きましょう。

東京舗装工業社員労働組合 杉原 慶太